

個人質問



日本共産党

大石ふみき



長崎市営ラグビー・サッカー場の改修

問 会派から行った政策要求に対する回答において、市営ラグビー・サッカー場については長寿命化計画に基づき、令和7年度に人工芝の全面改修を実施予定とのことだったが、予定どおり行うのか伺いたい。

答 本市が管理する公園施設の維持管理については、令和4年度から13年度までを期間とした長寿命化計画を策定し、補修・更新を進めているが、物価高騰や厳しい財政状況により計画どおりの実施が困難になっている。市営ラグビー・サッカー場の人工芝については、一度に全面張替えを行う必要があることから、多額の整備費用の確保が課題である。

今後、老朽化する公園施設の補修、更新は増加していくため、補助事業の活用に限らず、企業版ふるさと納税やネーミングライツ等による財源確保に努めていく。



新政ミライ

阿部のぞみ



燃やせるごみの減量化の効果と市の方針

問 ごみの分別状況の調査結果によると燃やせるごみの中でもリサイクルできるものとして、古紙類が10.7%、プラスチック製容器包装が11.1%含まれていたとの結果であるが、これらがリサイクルされることで多額の処分コストの削減が図られると考えられるが減量化の方針を伺いたい。

答 本市では年間11万トン程度の燃やせるごみを処理している。減量化により二酸化炭素などの温室効果ガスの削減や1トン当たり2万3,000円程度の焼却等に関する費用が縮減され、年間で約3億4,000万円程度の削減が見込まれる。

このため、リサイクル推進員によるごみの分別指導や古紙類の集団回収の促進、古着の拠点回収等に取り組んでおり、ゼロカーボンシティ長崎の実現に向け、ごみの減量化とリサイクル率の向上に積極的に取り組んでいく。



市民クラブ

五輪 清隆



老朽危険空き家の対応

問 老朽危険空き家の周辺住民は、常に危険と隣り合わせで生活しており、台風等空き家からの飛散物等で損害を受けた場合は、被害者が修理費を負担せざるを得ない状況である。市は空き家の調査を行っているが、調査の結果と今後の対応について伺いたい。

答 令和5年度からの調査で市内の空き家数は約9,300戸と確認している。また、老朽危険空き家は市民相談等から約160戸を把握しており、現在実施中の不良度調査でさらに増加もあり得る。

老朽危険空き家については喫緊の課題であると認識しており、粘り強く助言・指導、勧告等を行っている。一方、建物管理は所有者が適切に行うのが原則であるが、倒壊による危険が不特定多数に及ぶ可能性が高い場合は、空家特措法に基づく命令や行政代執行も視野に入れて取り組んでいく。



自民創生

山崎 猛



宿泊税の使途

問 本市では宿泊税について、どのような方針で、どのような事業に活用しているのか。トイレや喫煙所の設置など、施設の充実に活用することで観光地としての魅力がさらに向上し、訪問客のSNSなどによる口コミでの発信につながっていくと思うがどうか。

答 宿泊税の使途は、訪問客の利便性、満足度、再訪意欲の向上につながる事業としており、観光ワンストップサイト「トラベル ナガサキ」における情報提供やインスタグラム等でのデジタル広告による訴求プログラム等でのデジタル案内所運営などの受入れ環境整備などに活用している。

今後は、閑散期対策をはじめ、公衆トイレの洋式化や暖房便座への改修などの受入れ環境の整備を行うなど宿泊税の活用の効果が目に見える形で有効活用に取り組んでいく。